

No.	部署名	款	項	目	細目	事業コード	科目名	R2支出額(円)	ページ
191	健康福祉部 健康推進課	4	1	1	3	[00000193]	保健衛生総務事務費	11,580,830	1
192	健康福祉部 健康推進課	4	1	1	4	[00000194]	安房郡市広域市町村圏事務組合費	4,014,000	3
193	健康福祉部 健康推進課	4	1	1	7	[00000197]	母子保健事業	21,355,702	5
194	健康福祉部 健康推進課	4	1	1	8	[00000198]	健康づくり推進協議会運営費	78,840	7
195	健康福祉部 健康推進課	4	1	1	9	[00000199]	歯科口腔保健事業	1,164,210	9
196	健康福祉部 健康推進課	4	1	1	13	[00000817]	栄養改善事業	355,953	11
197	健康福祉部 健康推進課	4	1	1	14	[00000899]	看護師等確保対策事業	15,240,000	13
198	健康福祉部 健康推進課	4	1	1	16	[00000944]	保健衛生普及事業	250,000	15
199	健康福祉部 子ども支援課	4	1	1	17	[00001023]	養育医療給付事業	1,538,280	17
200	健康福祉部 健康推進課	4	1	1	18	[00001130]	骨髄移植ドナー等支援事業	0	19
201	健康福祉部 健康推進課	4	1	1	19	[00001290]	妊産婦支援給付金支給事業（新型コロナ対策）	8,105,317	21
202	総務部 環境課	4	1	2	1	[00000202]	犬適正管理活動育成事業	593,616	23
203	健康福祉部 健康推進課	4	1	2	2	[00000203]	予防接種事業	74,024,408	25
204	健康福祉部 健康推進課	4	1	2	5	[00000683]	各種検(健)診事業	26,099,669	27
205	健康福祉部 健康推進課	4	1	2	6	[00000747]	健康増進事業	90,930	29
206	健康福祉部 健康推進課	4	1	2	9	[00000948]	感染症予防事業	1,630,654	31
207	健康福祉部 健康推進課	4	1	2	10	[00001262]	感染症予防事業（新型コロナ対策）	10,385,420	33
208	健康福祉部 健康推進課	4	1	2	11	[00001274]	検診体制継続事業（新型コロナ対策）	1,165,231	35
209	健康福祉部 健康推進課	4	1	2	12	[00001281]	健康増進事業（新型コロナ対策）	485,116	37
210	健康福祉部 健康推進課	4	1	2	13	[00001369]	新型コロナワクチン予防接種事業	7,127,364	39
211	健康福祉部 健康推進課	4	1	2	80	[00001269]	感染症予防事業（災害対策）	479,193	41
212	総務部 環境課	4	1	3	2	[00000207]	安房郡市広域市町村圏事務組合費	66,635,000	43
213	総務部 環境課	4	1	3	3	[00000208]	環境衛生事務費	102,252	45
214	総務部 環境課	4	1	3	7	[00000212]	住環境美化推進事業①	1,129,076	47
215	総務部 環境課	4	1	3	7	[00000212]	住環境美化推進事業②		49
216	総務部 環境課	4	1	3	7	[00000212]	住環境美化推進事業③		51
217	総務部 環境課	4	1	3	8	[00000213]	環境審議会運営事業	0	53
218	総務部 環境課	4	1	3	10	[00000696]	公共施設浄化槽管理事業	1,087,532	55
219	総務部 環境課	4	1	3	14	[00000974]	住宅用省エネルギー設備設置事業	1,900,000	57
220	総務部 環境課	4	1	3	15	[00001092]	花壇維持管理事業	10,756,108	59
221	総務部 環境課	4	1	3	16	[00001093]	観光用トイレ維持管理事業	12,836,110	61
222	総務部 環境課	4	1	3	19	[00001115]	環境保全事業	5,684,649	63
223	総務部 環境課	4	1	4	1	[00000214]	公害対策事業①	3,118,500	65
224	総務部 環境課	4	1	4	1	[00000214]	公害対策事業②		67
225	総務部 環境課	4	1	4	1	[00000214]	公害対策事業③		69
226	総務部 環境課	4	2	1	1	[00000215]	家庭用小型合併処理浄化槽設置補助事業	8,072,000	71
227	総務部 環境課	4	2	1	2	[00000216]	ごみ処理対策事業	6,831,500	73
228	総務部 環境課	4	2	1	3	[00000217]	安房郡市広域市町村圏事務組合費	2,381,000	75
229	総務部 環境課	4	2	1	6	[00000220]	ごみ集積施設整備推進事業	50,000	77
230	総務部 環境課	4	2	1	9	[00000823]	旧鴨川市南房総市環境衛生組合費	1,491,552	79
231	総務部 環境課	4	2	1	11	[00001138]	6市1町広域廃棄物処理事業	93,368,139	81
232	総務部 環境課	4	2	2	2	[00000223]	清掃センター事務費	35,955,101	83
233	総務部 環境課	4	2	2	3	[00000224]	鴨川清掃センター維持管理費	144,875,923	85
234	総務部 環境課	4	2	2	4	[00000225]	天津小湊清掃センター維持管理費	12,378,409	87
235	総務部 環境課	4	2	2	5	[00000226]	天津小湊最終処分場維持管理費	4,351,055	89
236	総務部 環境課	4	2	2	6	[00000227]	塵芥収集車費	16,579,038	91
237	総務部 環境課	4	2	2	7	[00000228]	塵芥処理事業	25,288,725	93
238	総務部 環境課	4	2	2	8	[00000229]	焼却残渣等運搬処理事業	42,181,264	95
239	総務部 環境課	4	2	2	9	[00000606]	塵芥収集事業	52,470,000	97
240	総務部 環境課	4	2	2	10	[00001128]	中継施設整備事業	1,650,000	99
241	総務部 環境課	4	2	2	94	[00001253]2	塵芥収集車費（繰越分）	7,255,710	101
242	総務部 環境課	4	2	2	95	[00001239]1	災害廃棄物処理事業（繰越分）	49,664,881	103
243	総務部 環境課	4	2	2	97	[00000857]1	鴨川清掃センター維持管理費（繰越分）	27,500,000	105
244	総務部 環境課	4	2	3	3	[00000232]	し尿処理事務費	45,131,829	107
245	総務部 環境課	4	2	3	4	[00000233]	し尿処理施設維持管理費	83,833,430	109
246	総務部 環境課	4	2	3	5	[00000234]	し尿収集車費	2,168,544	111
247	総務部 環境課	4	2	3	80	[00001270]	し尿処理事務費（災害対策）	137,500	113
248	経営企画部 財政課	4	3	1	2	[00000236]	特別会計繰出金（水道）	80,320,541	115
249	経営企画部 財政課	4	4	1	1	[00000238]	特別会計繰出金（病院）	667,698,549	117
250	健康福祉部 健康推進課	4	4	1	2	[00001154]	国保病院経営改革事業	4,589,858	119

No.	部署名	款	項	目	細目	事業コード	科目名	R2支出額(円)	ページ
251	建設経済部 商工観光課	5	1	1	1	[00000239]	労働事務費	1,605,225	1

事業シート (概要説明書)

予算事業名	保健衛生総務事務費	事業開始年度	平成16年度
上位施策事業名	-	担当課名	健康推進課
根拠法令等	-	係名	保健予防係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	尾形正一郎

実施の背景
健康推進課保健予防係における会計年度任用職員報酬、旅費、消耗品及び各種団体負担金等の基礎的な事務関係費用。

目的
(何をどうしたいのか)
係分掌事務の効率的かつ円滑な執行に資するもの。

対象 (誰・何を対象に)	全市民	対象者数 (全住民に対する割合)
		31850 人 (100.0 %)

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施
	<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)
	<input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()

事業概要	事業内容 (簡条書き)	事業費	活動指標
	事業内容 (手段、手法など)	保健衛生業務事務全般の非常勤職員賃金及び保健医療参与の委嘱に係る経費 * 各種検診業務や健康教室等に係る正規職員の事務補助 非常勤職員 【保健師2名/看護師2名/栄養士1名】 * 保健医療参与 市の保健医療行政全般の総合的な推進を図ることを目的に、 非常勤特別職として竹内公一氏 竹股喜代子氏の2名を委嘱	

関連事業
(同一目的事業等)
安房郡市広域市町村圏事務組合費、母子保健事業、健康づくり推進協議会運営費、歯科口腔保健事業、栄養改善事業、看護師等確保対策事業、保健衛生普及事業、予防接種事業、健康増進事業、感染症予防事業

事業コスト	R3年度 (予算)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)		H30年度 (決算)									
	事業費合計	6,334	千円	11,581	千円	13,109	千円	10,981	千円							
事業費内訳 R2年度	非常勤職員報酬 4,725,000円【保健医療参与 竹内公一氏 竹股喜代子氏】 会計年度任用職員報酬 5,946,576円【保健師2人 看護師2人 栄養士1人】 会計年度任用職員期末手当 188,958円【看護師1名】 費用弁償 499,916円【保健医療参与・会計年度任用職員交通費】 需用費 116,699円【事務用品等】 債務費 75,143円【損害賠償保険料・計量器検査手数料】 委託料 7,638円【臨時職員健康診断】 負担金 20,900円【千葉県市町村保健活動連絡協議会】															
人件費	0.21	人	1,176	千円	0.2	人	1,120	千円	0.3	人	1,625	千円	0.3	人	1,625	千円
臨時職員等		人		千円		人		千円		人		千円		人		千円
人件費合計	0.2	人	1,176	千円	0.2	人	1,120	千円	0.3	人	1,625	千円	0.3	人	1,625	千円
総事業費	7,510	千円	12,701	千円	14,734	千円	12,606	千円								

財源内訳	国県支出金		千円		千円		千円		千円
	国県支出金の内容								
	地方債		千円		千円		千円		千円
	その他特財		千円		千円		千円		千円
	その他特財の内容								
	一般財源	7,510	千円	12,701	千円	14,734	千円	12,606	千円
財源合計	7,510	千円	12,701	千円	14,734	千円	12,606	千円	

事業番号

予算科目
(款項目) 4 - 1 - 1

令和3年度

事業シート (概要説明書)

予算事業名		保健衛生総務事務費			事業開始年度	平成16年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		※設定しない			/	/	/
					/	/	/
					/	/	/
	単位当たりコスト	/					
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	-					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		※設定しない					
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の 方向性、課題等	-					
比較参考値 (他自治体での類似 事業の例など)							
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	安房郡市広域市町村圏事務組合費	事業開始年度	平成16年度
上位施策事業名	救急・休日・夜間医療の充実	担当課名	健康推進課
根拠法令等	医療法	係名	保健予防係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	尾形正一郎
実施の背景	医療法第30条の4に基づき定められた千葉県保健医療計画に基づく二次保健医療圏(本市の場合は安房地域)での救急等医療の確保のため、当該医療圏と構成市町が同一の一部事務組合である安房郡市広域市町村圏事務組合において、当該事業を実施している。 本市における当該予算事業は、この一部事務組合へ拠出する負担金を計上しているもの。		
目的 (何をどうしたいのか)	疾病の初期対応の迅速化による市民の健康の確保、健康寿命の延伸並びに左記による医療費負担の縮減、医療法に基づき定められた千葉県保健医療計画に基づく救急等医療の確保		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	全ての市民	対象者数 (全住民に対する割合)		
			31850 人	(100.0 %)	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)			
		<input type="checkbox"/> 補助金(<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)			
<input type="checkbox"/> 貸付(貸付先:) <input checked="" type="checkbox"/> その他(負担金)					
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標		
	一部事務組合への負担金支出	4,014 千円	-		
関連事業 (同一目的事業等)					

事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	3,906 千円	4,014 千円	4,030 千円	4,030 千円	
	事業費内訳 R2年度	安房郡市広域市町村圏事務組合負担金 4,014千円				
	人件費	担当正職員	0.01 人 56 千円	0.02 人 112 千円	0.0 人 56 千円	0.0 人 56 千円
		臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
人件費合計		0.0 人 56 千円	0.0 人 112 千円	0.0 人 56 千円	0.0 人 56 千円	
	総事業費	3,962 千円	4,126 千円	4,086 千円	4,086 千円	
財源内訳	国庫支出金	国庫支出金の内容				
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	千円	千円	
		その他特財の内容				
	一般財源	3,962 千円	4,126 千円	4,086 千円	4,086 千円	
	財源合計	3,962 千円	4,126 千円	4,086 千円	4,086 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		安房郡市広域市町村圏事務組合費			事業開始年度	平成16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		※設定しない		/	/	/
				/	/	/
				/	/	/
	単位当たりコスト	/				
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		※設定しない				
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	医療機関における休日及び夜間医療の確保については現行のサービスを継続していくことが必要と考える。 また、救急車出動に関しては、安房郡市広域市町村圏事務組合が発行する消防年報によると、令和元年度には8,313件(1日当り22件)を超える出動件数となっている。救急要請の適正利用に向けて、安房郡市広域市町村圏事務組合からの要請に基づき必要な協力を行うことが必要と考える。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	【令和3年度における市町負担額】 ・鴨川市 3,906千円 ・館山市 51,646千円 ・南房総市 35,974千円 ・鋸南町 6,711千円					
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	母子保健事業		事業開始年度	平成16年		
上位施策事業名	母子保健の推進		担当課名	健康推進課		
根拠法令等	母子保健法		係名	保健予防係		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	尾形 正一郎		
実施の背景	母子保健法において国及び地方公共団体は、母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進に努めることが義務付けられている。					
目的 (何をどうしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・法に基づく実施義務の履行。 ・妊産婦及び乳幼児に対して、各種相談・健康の保持増進に関する事業を実施することにより、健全な母子の育成及び妊産婦・乳幼児の健康の増進を図る。 ・専門職からの情報提供・助言、また仲間との情報交換等により、育児への不安の軽減や楽しみに繋がりがり、虐待予防への効果も期待する。 					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	妊産婦及び乳幼児		対象者数 (全住民に対する割合)		
				1307 人 (4.10 %)		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 千葉県医師会・千葉県助産師会)				
<input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)						
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()					
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費	活動指標		
	<ul style="list-style-type: none"> ・届出 (妊娠届出、低出生体重児) 140千円 保健師面接実施率 ・相談事業 247千円 (のびのび相談、ぐんぐん相談、随時) 満足度 ・健康診査 19,209千円 (乳児健康診査、1歳6ヶ月児健康診査、3歳児健康診査、妊婦・乳児一般健康診査) 受診率 ・訪問 0円 (新生児訪問、未熟児訪問、乳児全戸訪問事業、産後ケア事業、随時) 実施率 ・健康教育 42千円 (パパママ学級、パパママ学級同窓会、随時) 満足度 					
関連事業 (同一目的事業等)						
コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	23,392 千円	21,356 千円	22,247 千円	23,565 千円	
	事業費内訳 R2年度	健診医師謝礼金 (乳幼児健診・相談事業等) 727,300 看護師等謝礼金 (乳幼児健診・相談事業等) 430,000 消耗品 (健診・相談事業で使用する用紙、離乳食・パパママ学級試食、衛生管理物品等) 55,364 印刷製本費 (母子手帳、健康教育用テキスト、保健指導用パンフレット等) 169,928 委託料 (産後ケア事業、3歳児尿検査、妊婦・乳児一般健康診査等) 18,371,610 負担金 (妊婦・乳児一般健康診査) 206,500 特定不妊治療助成金 1,395,000				
	人件費	2.6 人 14,285 千円	2.7 人 15,293 千円	2.6 人 14,565 千円	2.6 人 14,565 千円	
	臨時職員等	人 千円	人 千円	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円	
	人件費合計	2.6 人 14,285 千円	2.7 人 15,293 千円	2.6 人 14,565 千円	2.6 人 14,565 千円	
総事業費	37,677 千円	36,649 千円	36,812 千円	38,130 千円		
財源内訳	国県支出金	0 千円	0 千円	千円	千円	
		国県支出金の内容				
	地方債	0 千円	0 千円	千円	千円	
	その他特財	9,000 千円	1,300 千円	159 千円	1,400 千円	
		その他特財の内容 ふるさぽーと基金繰入金				
一般財源	28,677 千円	35,349 千円	36,653 千円	36,730 千円		
財源合計	37,677 千円	36,649 千円	36,812 千円	38,130 千円		

事業シート (概要説明書)

予算事業名		母子保健事業		事業開始年度	平成16年																	
事業実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度																	
	3歳児健診の受診率	%	99.0 / 100	96.2 / 100	95.8 / 100																	
	妊娠届出時の保健師の面接実施率	%	100.0 / 100	100.0 / 100	100.0 / 100																	
	乳児全戸訪問事業の実施率	%	96.5 / 100	90.2 / 100	96.4 / 100																	
	単位当たりコスト	①集団健康診査一般財源 ②届出事業一般財源 ③訪問事業一般財源	①集団健康診査受診者数 ②届出数 ③訪問実施数	千円	①1,581 ②744 ③-	①1,164 ②670 ③0.39	①2,484 ②573 ③-															
成果目標 (指標設定理由等)	<p>・妊娠届出時から保健師が面接し、妊娠・出産・育児に向けて母子保健事業を通して支援している。乳児全戸訪問事業、集団乳幼児健康診査については、対象者全員に通知等で周知し、受診率も100%に近い状況で推移している。このような機会を利用し、子どもの成長・発達を確認・共有し、母性の獲得や子育ての楽しさを感じられることが、健全な母子の育成及び乳幼児の健康増進へとつながる。このことから、「ゆったりした気分で子どもとすごせるか」を指標として設定した。</p> <p>・虐待のリスクとして、出産・育児への知識不足や育児への不安、育児の孤立化等があげられる。妊娠届出時の保健師との全数面接によりハイリスク者へ早期から対応できる体制を作り、パパママ学級による知識の提供・仲間作りの場の提供、また、相談事業実施等により育児不安の軽減を図っている。妊娠時から継続した支援を実施した結果、乳幼児健康診査受診時での「虐待を疑う行動のある親の割合」を指標として設定した。</p>																					
事業成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度																	
	ゆったりした気分で子どもとすごせる母親の割合 ※1 ①乳健②1.6健③3健	%	①84.6/100 ②81.1/100 ③69.3/100	①83.1/100 ②80.0/100 ③67.5/100	①87.3/100 ②75.1/100 ③74.4/100																	
	子どもを虐待していると思われる親の割合 ※2 ①乳健②1.6健③3健	%	①6.1/0 ②10.0/0 ③37.7/0	①2.8/0 ②16.5/0 ③42.3/0	①5.1/0 ②14.9/0 ③32.4/0																	
自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充																					
今後の事業の方向性、課題等	<p>3歳児健康診査時における「虐待をしていると思われる親の割合」は約3割であった。昨年よりも減少傾向にある。共働きや核家族化、親の高齢化など、子育てする環境はシビアな現状は変わらない。また、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、交流の場が減少し、育児ストレスを抱える母が増加。しかし、そんな状況の中で今後も母子保健事業を通して児の健やかな成長を見守ると共に、保護者の育児不安や育児ストレス、育児負担の軽減や、保護者が子育てを通じて地域社会とのつながりを持つよう支援することで、生き生きとした子育てができるよう事業体制を整えていく。</p> <p>平成29年4月の母子保健法の改正施行にて「子育て世代包括支援センター」の市町村設置が規定され、複数課で行っている母子保健・子育て支援事業を切れ目なく提供することが謳われている。</p> <p>当課としては妊娠届出時、またそれ以前からの相談をさらに充実させ、妊娠・出産・子育てへのイメージがもてるよう情報提供・助言し、この面接をきっかけに相談しやすい関係づくりを目指す。子育て包括支援センターの体制整備を図り、両親学級などを通じて妊娠期からの切れ目ない支援を充実させる。離乳食教室・両親学級については、アンケート等を実施し参加者のニーズの把握と内容の検討を図りながら悩みを解決出来るような教室の開催、参加者の増加を目指す。</p>																					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p><H30年度母子保健事業実績報告値></p> <table border="0"> <tr> <td>3歳児健康診査受診率</td> <td>母子手帳交付の対応職種</td> </tr> <tr> <td>鴨川市 97.8%</td> <td>保健師</td> </tr> <tr> <td>館山市 94.4%</td> <td>保健師</td> </tr> <tr> <td>南房総市 93.0%</td> <td>保健師、栄養士</td> </tr> <tr> <td>鋸南町 100.0%</td> <td>保健師、栄養士、事務</td> </tr> <tr> <td>木更津市 96.4%</td> <td>保健師、助産師</td> </tr> <tr> <td>君津市 93.4%</td> <td>保健師、助産師、事務</td> </tr> <tr> <td>千葉市 94.5%</td> <td>保健師</td> </tr> </table>						3歳児健康診査受診率	母子手帳交付の対応職種	鴨川市 97.8%	保健師	館山市 94.4%	保健師	南房総市 93.0%	保健師、栄養士	鋸南町 100.0%	保健師、栄養士、事務	木更津市 96.4%	保健師、助産師	君津市 93.4%	保健師、助産師、事務	千葉市 94.5%	保健師
3歳児健康診査受診率	母子手帳交付の対応職種																					
鴨川市 97.8%	保健師																					
館山市 94.4%	保健師																					
南房総市 93.0%	保健師、栄養士																					
鋸南町 100.0%	保健師、栄養士、事務																					
木更津市 96.4%	保健師、助産師																					
君津市 93.4%	保健師、助産師、事務																					
千葉市 94.5%	保健師																					
特記事項																						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	健康づくり推進協議会運営費	事業開始年度	平成16年度
上位施策事業名	健康福祉推進に関する計画の策定及び推進	担当課名	健康推進課
根拠法令等	鴨川市附属機関設置条例	係名	保健予防係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	尾形正一郎
実施の背景	鴨川市附属機関設置条例に基づく有識者会議であり、市民の総合的な健康づくりのための方策について、市長の諮問に応じ事業計画の推進その他の実施に関し、必要な調査及び建議を行う機関である。		
目的 (何をどうしたいのか)	本市健康づくり施策の計画的かつ着実な推進に資するものであり、当該施策全般を対象として、主に前年度実績を踏まえた当該年度計画に関する協議の場として機能している。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	鴨川市民	対象者数 (全住民に対する割合)	31850 人 (100.0 %)
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)		
		<input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)		
事業内容 (手段、手法など)	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()			
	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	
市民の総合的な健康づくりのため、計画の策定及び推進について審議を行うため健康づくり推進協議会を開催する。				
関連事業 (同一目的事業等)				

		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
事業コスト	事業費合計	38 千円	79 千円	41 千円	46 千円
	事業費内訳 R2年度	非常勤職員報酬 20,000円 【1回目会議：委員4名分の報酬 5,000円×4名】 25,000円 【2回目会議：委員5名分の報酬 5,000円×5名】 30,000円 【3回目会議：委員6名分の報酬 5,000円×6名】 費用弁償 1,000円 【1回目会議：委員3名分の交通費】 1,280円 【2回目会議：委員4名分の交通費】 1,560円 【3回目会議：委員5名分の交通費】			
	担当正職員	0.1 人 560 千円	0.2 人 1,120 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円
	臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
人件費合計	0.1 人 560 千円	0.2 人 1,120 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	
総事業費		598 千円	1,199 千円	601 千円	606 千円
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円
	国庫支出金の内容				
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他特財	千円	千円	千円	千円
	その他特財の内容				
一般財源	598 千円	1,199 千円	601 千円	606 千円	
財源合計	598 千円	1,199 千円	601 千円	606 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		健康づくり推進協議会運営費			事業開始年度	平成16年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		開催回数		回	3 / 6	1 / 1	1 / 1
					/	/	/
					/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/	開催回数	千円		
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)						
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		※設定しない					
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の 方向性、課題等	委員は医師会、歯科医師会、リハビリ専門機関、老人クラブ、地域スポーツクラブ、市校長会、教育委員会、保健所等から構成され、市の健康施策に対する意見聴取をする機関として開催していく予定。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)							
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	歯科口腔保健事業		事業開始年度	平成16年度	
上位施策事業名	歯科保健の推進		担当課名	健康推進課	
根拠法令等	歯科口腔保健の推進に関する法律・千葉県歯・口腔の健康づくり推進条例		係名	保健予防係	
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	尾形 正一郎	
実施の背景	乳幼児期から生涯と通じた歯科疾患の予防と口腔保健の維持が、健康で質の高い生活を営む上で基礎かつ重要な役割を果たしていることから、市民の意識向上を図るべく、よい歯のコンクールを安房地区で実施。また、平成7年から天津小湊町が実施していたむし歯予防に効果があるフッ化物洗口事業を、合併とともに実施施設を拡大、市内保育園幼稚園小中学校で実施し、社会的に有病者率が高い歯科疾患の予防と健康格差の縮小を図り、永久歯のむし歯予防について良好な結果が得られている。				
目的 (何をどうしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・よい歯のコンクール(親子部門・高齢者部門)を実施し、8020運動推進と口腔保健に関する市民の意識向上を推進する。 ・永久歯のむし歯予防対策としてフッ化物洗口と歯磨き指導を継続実施し、12歳児の1人平均むし歯数1歯以下の維持向上を図る。 ・乳歯のむし歯予防対策として、幼児歯科健康診査及びフッ化物歯面塗布を医療機関に委託して実施し、3歳児のむし歯のない者の割合の増加を図る。 				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	<ul style="list-style-type: none"> ・よい歯のコンクール(むし歯が無い幼児とその保護者・80歳以上で歯が20本以上ある高齢者) ・永久歯のむし歯予防対策：フッ化物洗口(対象4歳～中学校卒業までの希望者) ・乳歯のむし歯予防対策：幼児歯科健康診査及びフッ化物歯面塗布(2歳と2歳6か月) 		対象者数(全住民に対する割合)	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 鴨川市内契約歯科医院)		人 (0 %)	
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容(箇条書き) 事業費 活動指標 ・前年度3歳児歯科健康診査でむし歯がなかった児とその保護者を対象とした親と子のよい歯のコンクール、及び、4月1日現在で80歳以上で自分の歯を20本以上有する高齢者を対象とした、安房郡市親と子・高齢者のコンクールは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により中止となった。 ・永久歯のむし歯予防対策として、厚生労働省のガイドラインに沿った4歳から中学校卒業までの園児・次号・生徒が在籍する施設にてフッ化物洗口事業を実施。給食後の歯磨き後に規定のフッ化物洗口液を用いてぶくぶくうがいをする。(薬剤・歯科医師処方箋・歯磨き指導等使用消耗品 365,654円)フッ化物洗口事業の情報共有として予定していた研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により中止となった。 ・乳歯のむし歯予防対策として、2歳と2歳6か月の際に、歯科健康診査とフッ化物歯面塗布を歯科医院で無料で受けられる受診票を保護者に配付、業務は市内歯科医院に委託して実施。(医療機関委託料・受診票印刷製本費 721,112円)			
	関連事業 (同一目的事業等)				
コスト	事業費合計	R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
	事業費内訳 R2年度	1,170 千円	1,164 千円	1,167 千円	1,207 千円
	担当正職員	0.4 人 2,241 千円	0.4 人 2,241 千円	0.4 人 2,241 千円	0.4 人 2,241 千円
	臨時職員等	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円
	人件費合計	0.4 人 2,241 千円	0.4 人 2,241 千円	0.4 人 2,241 千円	0.4 人 2,241 千円
総事業費	3,411 千円	3,405 千円	3,408 千円	3,448 千円	
財源内訳	国庫支出金	0 千円	0 千円	千円	千円
	国庫支出金の内容				
	地方債	0 千円	0 千円	千円	千円
	その他特財	245 千円	0 千円	千円	千円
	その他特財の内容	ふるさぽーと基金繰入金			
一般財源	3,166 千円	3,405 千円	3,408 千円	3,448 千円	
財源合計	3,411 千円	3,405 千円	3,408 千円	3,448 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		歯科口腔保健事業			事業開始年度	平成16年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		-		/	/	/	
		フッ化物洗口事業実施施設数	施設	17 / 17	17 / 17	21 / 21	
				/	/	/	
	単位当たりコスト	フッ化物洗口使用薬剤費	/	フッ化物洗口実施延べ人数	円	156	121
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	健康日本21 (厚生労働省) 目標値 ・ 12歳児の1人平均むし歯数 1歯以下 ・ 3歳児でむし歯がない者の割合80%以上 (千葉県での3歳児の比較数値は、「3歳児でむし歯がある者の割合」が使用されている為、3歳児でむし歯がある者の割合20%以下となる)					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		12歳児の1人平均むし歯数 (鴨川市/千葉県)	歯	0.104/未確定	0.281/0.617	0.314/0.654	
		3歳児のむし歯のある者の割合 (鴨川市/千葉県)	%	18.22/未確定	15.23/11.6	24.7/13.0	
自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充						
今後の事業の方向性、課題等	永久歯のむし歯予防対策として4歳～中学校卒業までを対象としたフッ化物洗口は保護者の希望により実施。例年98%の実施希望があり良好なむし歯予防効果が得られている。ただし、フッ化物洗口を中止した場合はむし歯状況が悪化する旨を東京歯科大学名誉教授に確認している。実施については、施設職員の理解と協力が不可欠である為、事業に関する情報提供と共通理解を目的に、東京歯科大学名誉教授を講師に研修会を実施し、効果的な事業展開を図る。乳歯のむし歯予防対策として、幼児歯科健康診査及びフッ化物歯面塗布を、平成29年度から医療機関に委託して行い改善を図っている。令和元年度の3歳児むし歯有病者率は目標値を達成できたが、母数が少ない本市においては、個別の生活習慣や転入者の数値影響が大きい為、今後も歯科疾患の予防と健康格差の縮小を図るため、フッ化物応用でのむし歯予防対策の継続実施は必要である。						
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	○乳歯のむし歯予防対策指標 (3歳児のむし歯のある者の割合) 千葉県平均・鴨川市・館山市・南房総市・鋸南町・勝浦市 H29 14.5%・20.3%・19.3%・28.7%・17.4%・29.0% H30 13.0%・24.7%・17.3%・21.6%・9.1%・18.7% R01 11.6%・15.2%・19.5%・19.7%・4.2%・8.6% ○永久歯のむし歯予防対策指標 (12歳児の1人平均むし歯数 (DMF指数)) 千葉県平均・鴨川市・館山市・南房総市・鋸南町・勝浦市 H29 0.761・0.232・0.667・0.981・0.220・1.455 H30 0.654・0.314・0.454・0.841・0.188・0.337 R01 0.617・0.281・0.654・1.053・0.333・0.187						
特記事項	平成30年度に、フッ化物洗口実施群として安房東中学校、フッ化物洗口未実施群として安房地区X中学校、それぞれの生徒の唾液を採取し、唾液中のむし歯原因菌を抽出、学校歯科健診の結果とあわせて東京歯科大学真木吉信教授が分析したところ、集団フッ化物洗口を実施している安房東中学校ではいずれの学年においても、むし歯有病者率と一人平均う歯数が低く、むし歯の原因菌が存在してもむし歯になりにくいことが明確となった。						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	栄養改善事業	事業開始年度	平成16年度		
上位施策事業名	食育・栄養改善事業の推進	担当課名	健康推進課		
根拠法令等	食育基本法	係名	保健予防係		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	尾形正一郎		
実施の背景	栄養の改善その他の生活習慣の改善による市民の健康の確保、健康寿命の延伸並びに下記による医療費負担の縮減、法に基づく実施義務の履行				
目的 (何をどうしたいのか)	妊産婦乳幼児から成壮年期にかけて各世代の健康課題に応じた生涯にわたる生活習慣病予防のための適切な生活習慣の獲得を目指し、個人のみでなく家族ぐるみや地域との交流を通じて、健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむことを目的とする。				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	65歳未満の市民	対象者数 (全住民に対する割合) 19,306 人 (61 %)		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施			
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 鴨川市食生活改善協議会)			
		<input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)			
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()				
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標		
関連事業 (同一目的事業等)					
事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
	事業費合計	531 千円	356 千円	564 千円	568 千円
	事業費内訳 R2年度	①普通旅費 0円 ②消耗品費 26,834円 (栄養指導用品) ③印刷製本費 73,927円 (啓発用冊子) ④手数料 126,500円 (栄養指導用栄養調査システム及び個人結果印刷システム利用手数料) ⑤食生活改善推進活動事業委託料 109,192円 ⑥栄養士会負担金 19,500円			
	担当正職員	0.4 人 2,241 千円	0.4 人 2,241 千円	0.4 人 2,241 千円	0.4 人 2,241 千円
	臨時職員等	人 千円	人 千円	0.0 人 千円	0.0 人 千円
人件費合計	0.4 人 2,241 千円	0.4 人 2,241 千円	0.4 人 2,241 千円	0.4 人 2,241 千円	
総事業費	2,772 千円	2,597 千円	2,805 千円	2,809 千円	
財源内訳	国県支出金	84 千円	84 千円	82 千円	87 千円
	国県支出金の内容 健康増進事業補助金				
	地方債	千円	千円	0 千円	0 千円
	その他特財	千円	千円	0 千円	0 千円
	その他特財の内容				
一般財源	2,688 千円	2,513 千円	2,723 千円	2,722 千円	
財源合計	2,772 千円	2,597 千円	2,805 千円	2,809 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		栄養改善事業		事業開始年度	平成16年度		
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		小児生活習慣病予防検診事後指導実施率	%	40.6 / 100	51 / 100	42 / 100	
		食生活改善推進員による地区伝達活動実施回数	回	2 / 200	53 / 200	69 / 200	
		食生活改善推進員による地区伝達活動参加延人数	人	58 / 2,000	903 / 2,000	1,428 / 2,000	
	健康教育参加延人数 (H30実施回数30回)	回	273 / 800	590 / 800	656 / 800		
単位当たりコスト	①事業費 (食生活改善推進員による地区伝達活動) ②事業費 (健康教育)	/	①食生活改善推進員による地区伝達活動参加延人数 ②健康教育参加延人数	人	①2,759 ②463	①354 ②211	①224 ②189
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	地域交流や豊かな人間性の育成についての客観的な評価指標は困難なため、乳幼児期や母の妊娠期からの食育への取組の成果として小児生活習慣病予防検診の有所見率を挙げた。検査項目の見直し変更があったため目標値は設定していない。 また、鴨川市特定健診受診者(40歳から74歳の鴨川市国民健康保険加入者)への質問票のうち食習慣に関するものの回答状況を指標とした。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		小児生活習慣病予防検診有所見者割合	%	23.9/-	25.6/-	27.3/-	
		人と比較して食べるのが早いと回答した人の割合 (特定健診質問票: 前年度法定報告)	%	26.1/18	25.3/18	22.9/18	
就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある人の割合 (特定健診質問票: 前年度法定報告)	%	17.3/14	19.2/14	16.8/14			
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	①小児生活習慣病予防検診結果から小児の頃から脂質異常症や貧血等の所見があるものの割合が一定数おり、家族全体で健康に関心を持ち食習慣の改善に繋がられるような取組みを食生活改善協議会と協働し実施している。また若年期から減塩を始めとする生活習慣病予防の教育や啓発活動を実施し疾病の発症予防に取り組んでいる。 ②学校との連携により、小児生活習慣病予防検診有所見者に対する個別面接の実施率向上を図る。 ③食生活改善推進員の自発的取組を促進し、地域に密着した活動を拡充する。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	平成30年度安房4市町食育活動報告 (令和元年度安房地域食育推進会議資料より抜粋) 鴨川市: 13回/544人、食育月間・食育の日PR広報とPRティッシュ配布 館山市: 3回/245人+地区組織育成事業回数/432人、県民の日給食等 南房総市: 61回/2096人 鋸南町: 23回/703人、一人世帯高齢者昼食プレゼント ※令和2年度の会議開催はなし。						
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	看護師等確保対策事業	事業開始年度	平成23年度
上位施策事業名	看護師等の確保	担当課名	健康推進課
根拠法令等	鴨川市看護師等修学資金貸付条例	係名	保健予防係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	尾形 正一郎
実施の背景	安房地域における看護師不足解消のため、平成23年度より修学資金貸付制度を創設し、市内在住者の看護系学校への進学を促進することにより、看護師等の確保を通し地域において提供される医療サービスの質及び量の確保を図る。		
目的 (何をどうしたいのか)	修学資金の貸付により、安房郡市内に勤務する看護職員を確保することを目的としている。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	本人、または両親、配偶者、その他の親族が1年以上本市に住所を有し、かつ看護師等養成施設に在学中の者で、免許取得後直ちに安房郡市内の病院等に就業する意志を有する者	対象者数 (全住民に対する割合)	- 人 (%)
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者) <input type="checkbox"/> 補助金(<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:) <input checked="" type="checkbox"/> 貸付(貸付先: 看護師養成施設に在学している方) <input type="checkbox"/> その他()		
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標
	事業内容 (手段、手法など)	看護師等修学資金貸付 (30,000円/月×12か月×29名) (20,000円/月×12か月×20名) 事業費: 15,240千円 活動指標: 貸付人数		
関連事業 (同一目的事業等)				

		R3年度 (予算)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)		H30年度 (決算)									
事業コスト	事業費合計	15,360	千円	15,240	千円	14,760	千円	14,220	千円								
	事業費内訳 R2年度	看護師等修学資金貸付金 (新規貸与者: 20名 継続貸付者: 29名) 月額30,000円×12か月×29名=10,440,000円 月額20,000円×12か月×20名=4,800,000円															
	人件費	0.23	人	1,288	千円	0.23	人	1,288	千円	0.2	人	1,120	千円	0.2	人	1,120	千円
	総事業費	16,648	千円	16,528	千円	15,880	千円	15,340	千円								
財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円		千円								
	国庫支出金の内容																
	地方債		千円		千円		千円		千円								
	その他特財	15,360	千円	9,660	千円	8,640	千円	10,860	千円								
	その他特財の内容	教育振興基金繰入金9,660															
一般財源	1,288	千円	6,868	千円	7,240	千円	4,480	千円									
財源合計	16,648	千円	16,528	千円	15,880	千円	15,340	千円									

事業シート (概要説明書)

予算事業名		看護師等確保対策事業		事業開始年度	平成23年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		看護師等修学資金貸付者 (新規)	人	20 / 20	17 / 20	13 / 40
		※対象者を増やすことが事業の目標である。		/	/	/
		看護師等修学資金貸付者 (累計)	人	174 / 142	154 / 142	137 / 109
	単位当たりコスト	総事業費	/ 看護師等貸付者人数	円	94,988	106,233
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	安房郡市内に勤務する看護職員を増やすことが目的であるため、看護師等修学資金を利用し、安房郡市内で看護師として勤務した人数を成果目標とした。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		本事業を利用し安房郡市内で看護師として勤務した人数	人	12/11	10/11	13/11
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	看護師等就業状況については市内医療機関(10医療機関)に調査を行った結果、看護師等の不足は2名で、看護師等の不足の解消が図れたものと推測される。 しかし、看護師等は充足してきたが、看護師等の離職率は未だに10%以上と高い。 安房郡市で協議を行い、月の貸付金額を3万円から2万円に減額するとともに、事業の条例を改正し、令和7年3月末をもって廃止する方向で事業を進めていく。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		(参考) 看護師等修学資金貸付者(新規)/看護師等修学資金貸付者(累計) ・館山市 6人/124人 ・南房総市 4人/69人 ・鴨川市 18人/192人				
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	保健衛生普及事業	事業開始年度	平成16年度
上位施策事業名	-	担当課名	健康推進課
根拠法令等	鴨川市補助金等交付規則、鴨川市食品安全事業補助金交付要綱	係名	保健予防係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	尾形正一郎
実施の背景	市民の健康の基礎となる食品の安全性の確保、法に基づく地方公共団体の責務の履行		
目的 (何をどうしたいのか)	食品の安全性の確保に資するため、食品衛生関係団体が食品の安全性の確保のために行う事業に要する経費の一部について、補助金を交付する。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	安房保健所管内鴨川食品衛生協会	対象者数 (全住民に対する割合)	894 人 (2.8 %)
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)		
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (<input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)		
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()			
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	
食品衛生責任者養成講習会、食品衛生指導員大会、食中毒予防啓発用品購入、出店巡回指導、諸検査容器購入等(補助金団体にて実施)		事業費: 250千円	活動指標: 補助金額	
関連事業 (同一目的事業等)				

		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
事業コスト	事業費合計	470 千円	250 千円	522 千円	522 千円	
	事業費内訳 R2年度	食品安全事業補助金 鴨川食品衛生協会 250,000円 ※補助金=補助対象事業費×1/3 但し限度額は250,000円とする。				
	人件費	担当正職員	0.02 人 112 千円	0.01 人 56 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円
		臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
		人件費合計	0.0 人 112 千円	0.0 人 56 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円
総事業費		582 千円	306 千円	1,082 千円	1,082 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円	
	国県支出金の内容					
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	千円	千円	
	その他特財の内容					
一般財源		582 千円	306 千円	1,082 千円	1,082 千円	
財源合計		582 千円	306 千円	1,082 千円	1,082 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		保健衛生普及事業			事業開始年度	平成16年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		鴨川食品衛生協会 (補助額/補助上限額)			250 / 250	522 / 522	522 / 522
					/	/	/
					/	/	/
	単位当たりコスト	食品衛生講習会	/	補助対象事業費	134,021	93,250	93,250
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	食中毒が発生した場合多くの人に影響が及ぶ。平成29年2月に市内で発生が確認されてしまったため、発生0件を目指し食品安全に対する普及啓発を推し進めてもらう。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		食品衛生協会会員数		人	894/1200	894/1200	937/1,200
		食品衛生講習会		回	2/2	9/9	8/8
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	食品衛生協会は、食品に起因する危害の発生を防止し、食品並びに公衆衛生の向上を図ることを目的としている。また、その会員は鴨川市に店舗を持つ食品衛生法による食品取扱業者である。 食品衛生協会に対する補助は、最終的にその店舗の利用者まで還元すると考えられ、公益性の高いものであるため今後も事業を継続していくことが望ましい。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		令和3年度予算 館山市 館山食品衛生協会補助金 35,000円					
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	養育医療給付事業		事業開始年度	平成25年度	
上位施策事業名	-		担当課名	子ども支援課	
根拠法令等	母子保健法、鴨川市母子保健法に基づく低体重児の届出・養育医療の給付等に関する規則		係名	子ども福祉係	
事務区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	島口 武久	
実施の背景	母子保健法の規定に基づく給付事業である。 平成25年度、県からの権限委譲により市が実施することとなった。				
目的 (何をどうしたいのか)	医療を必要とする未熟児に対し養育に必要な医療を行うことにより、乳児の健康管理と健全な育成を図る。				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	体重が2,000グラム以下で出生した乳児で医師が入院養育を必要と認めたもの		対象者数 (全住民に対する割合) 1 人 (0.00 %)	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者) <input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()			
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	
		未熟児の養育に必要な医療費の給付を行う	1,308	千円	養育医療給付費支給者数
		診療報酬審査支払事務委託料	1	千円	
	国庫支出金の返還	230	千円		
			千円		
			千円		
関連事業 (同一目的事業等)					
コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
	事業費合計	1,337 千円	1,538 千円	905 千円	2,237 千円
	事業費内訳 R2年度	養育医療給付費 1,308,075円 診療報酬等審査支払事務委託料 484円 国庫負担金返還金 229,721円			
	担当正職員	0.2 人 1,120 千円	0.2 人 1,120 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円
	臨時職員等	0 人 0 千円	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円
人件費合計	0.2 人 1,120 千円	0.2 人 1,120 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円	
総事業費	2,457 千円	2,658 千円	1,465 千円	2,797 千円	
財源 内訳	国庫支出金	643 千円	664 千円	405 千円	686 千円
		国庫支出金の内容 未熟児養育医療費等国庫負担金、千葉県未熟児養育医療費負担金			
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他特財	476 千円	410 千円	259 千円	733 千円
		その他特財の内容 養育医療給付費徴収金 (保護者の所得に応じて自己負担を徴収)			
一般財源	1,338 千円	1,584 千円	801 千円	1,378 千円	
財源合計	2,457 千円	2,658 千円	1,465 千円	2,797 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		養育医療給付事業			事業開始年度	平成25年度		
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		-			/	/	/	
		養育医療給付費支給者数		人	1 /	2 /	4 /	
		養育医療給付費支給額		円	1,308,075 /	799,466 /	1,648,088 /	
	単位当たりコスト		支給額	/	支給者数	円	1,308,075	399,733
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	体重が2,000グラム以下で出生し入院の必要な乳児が養育に必要な医療を受けることにより、乳児の健康管理と健全な育成が図れる。						
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		支給者数			1	2/7	4/7	
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充						
	今後の事業の方向性、課題等	母子保健法に基づく法定受託事務のため、継続が必要である。						
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)								
特記事項								

事業シート (概要説明書)

予算事業名	骨髄移植ドナー等支援事業	事業開始年度	平成30年度
上位施策事業名	-	担当課名	健康推進課
根拠法令等	鴨川市骨髄移植ドナー等支援事業助成金交付要綱	係名	保健予防係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	尾形正一郎
実施の背景	市町村を対象とした助成制度が千葉県において設けられ、千葉県としても県下市町村に対して当該助成制度の活用を求められている。		
目的 (何をどうしたいのか)	ドナー及びドナーとなるものが就業する事業所に対し金銭的な助成を行い、ドナー登録・骨髄等移植の促進及び骨髄等ドナーに係る特別休暇制度を設ける事業所の増加を図る。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民 (骨髄等を移植可能な市民 20歳以上55歳以下)	対象者数 (全住民に対する割合)		
			11945 人	(37.5 %)	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施			
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (<input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 市民 実施主体: 市)				
	<input type="checkbox"/> 貸付(貸付先:) <input type="checkbox"/> その他()				
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標		
	<ul style="list-style-type: none"> 骨髄等を移植したドナーへの助成金 ドナーが就業する事業所への助成金 				
関連事業 (同一目的事業等)					

コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
	事業費合計	210 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	事業費内訳 R2年度	補助金 ドナー ー 千円 事業所 ー 千円			
	人件費	担当正職員 0.10 人 560 千円	0.01 人 56 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円
		臨時職員等 人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
	人件費合計	0.1 人 560 千円	0.0 人 56 千円	0.1 人 560 千円	0.1 人 560 千円
	総事業費	770 千円	56 千円	560 千円	560 千円
財源 内訳	国県支出金	105 千円	0 千円	千円	千円
		国県支出金の内容 骨髄移植ドナー等支援事業補助金			
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他特財	千円	千円	千円	千円
		その他特財の内容			
	一般財源	665 千円	56 千円	560 千円	560 千円
	財源合計	770 千円	56 千円	560 千円	560 千円

事業シート (概要説明書)

予算事業名		骨髄移植ドナー等支援事業			事業開始年度	平成30年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
		助成金交付 (ドナー)	%	0 / 1	0 / 1	0 / 1
		助成金交付 (事業所)	%	0 / 1	0 / 1	0 / 1
				/	/	/
	単位当たりコスト	①事業費 (ドナー分) ②事業費 (事業所分)	/	交付件数	① - ② -	① - ② -
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	交付件数、鴨川市でのドナー登録者数を指標とした。 ドナー登録は日本骨髄バンクが主体で行い、登録データを赤十字血液センターが管理しているが、市単位で年間の新規登録者数については管理をしていないため、年度末における登録者数の数値とした。				
	成果 (目標達成状況)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		交付件数 (ドナー)	件	0/1	0/1	0/1
		交付件数 (事業所)	件	0/1	0/1	0/1
	ドナー登録者数	人	7	27	162	
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	引き続きホームページ等での周知。 千葉県赤十字血液センター及び千葉骨髄バンク推進連絡会が主体となり行う、献血併行型骨髄バンク登録会の場所提供やスタッフ派遣への協力。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項						

事業シート (概要説明書)

予算事業名	妊産婦支援給付金支給事業 (新型コロナ対策)	事業開始年度	令和2年度
上位施策事業名		担当課名	健康推進課
根拠法令等		係名	保健予防係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	尾形 正一郎
実施の背景	新型コロナウイルス感染症の影響により生活上及び経済上の負担が増している妊産婦への支援。		
目的 (何をどうしたいのか)	新型コロナウイルス感染症が拡大する中、不安を抱える妊産婦が安心して出産や子育てを行えるよう、臨時特別に給付金を支給。		

事業概要	対象 (誰・何を対象に)	次のいずれにも該当する妊婦または産婦。 1 給付金の支給の申請の日において本市に住所を有し、かつ、本市の住民基本台帳に記載されている者 2 本市又は他の市町村に母子保健法に規定する妊娠の届出をした者であって、令和2年4月28日から令和3年3月31日までの間に妊娠期間があるもの なお、申請期間内に再度の妊娠をした場合は、再度申請できるものとする。	対象者数 (全住民に対する割合)	人 (0 %)
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (<input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 申請者 実施主体: 市) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標
	関連事業 (同一目的事業等)	支給対象者に対し、妊娠1回につき3万円の給付金を支給。 給付金の申請の期限は令和3年3月31日。 ①給付金を受けようとする者は、申請書に以下3点の書類を添付し提出。 ・母子健康手帳の写し (交付日及び妊娠中の経過が記載されている部分) ・支給対象者本人の金融機関口座・名義が記載された預金通帳の写し ②給付金は、申請書に記載された金融機関の口座に振込む方法により支給。 施行期日令和2年10月9日 施行期日前に母子手帳を交付した妊産婦には、関係書類を郵送。その後は妊娠届出・母子手帳交付の際に、保健師面接のうえ、説明とあわせて関係書類を配付。 申請書の提出は、コロナ禍を配慮し、関係書類に同封する返信用封筒にて提出。		

事業コスト	事業費合計	R3年度 (予算)	0 千円	R2年度 (決算)	8,105,317 千円	R元年度 (決算)	千円	H30年度 (決算)	千円
	事業費内訳 R2年度	通信運搬費 (郵便料) 35,317円 妊産婦支援給付金8,070,000円							
	人件費	担当正職員	0 人	0.4 人	2,185 千円	0 人	0 千円	0 人	0 千円
	臨時職員等	0 人	0.0 人	0 千円	0 人	0 千円	0 人	0 千円	
	人件費合計	0.0 人	0 千円	0.4 人	2,185 千円	0.0 人	0 千円	0.0 人	0 千円
総事業費	0 千円	8,107,502 千円	0 千円	0 千円	0 千円				
財源内訳	国県支出金	0 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	国県支出金の内容								
	地方債	0 千円	0 千円	千円	千円	千円	千円		
	その他特財	0 千円	0 千円	千円	千円	千円	千円		
	その他特財の内容								
一般財源	0 千円	8,107,502 千円	0 千円	0 千円	0 千円				
財源合計	0 千円	8,107,502 千円	0 千円	0 千円	0 千円				

事業番号

予算科目
(款項目) 4 - 1 - 1

令和3年度

事業シート (概要説明書)

予算事業名		妊産婦支援給付金支給事業 (新型コロナ対策)			事業開始年度	令和2年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
					/	/	/
		給付延べ件数		件	269	/	/
		給付総額金額		円	8,070,000	/	/
	単位当たりコスト		総事業費	/	円		
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)						
	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度	
				/	/	/	
	成果 (目標達成状況)			/	/	/	
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の 方向性、課題等	令和2年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止緊急事態宣言に係る妊産婦支援を目的とした事業 (単年度実施)					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		館山市：たてやまの妊産婦応援特別給付金 対象者 申請日に館山市に住所があり、次のいずれかに該当するもの。 ①令和2年4月28日以降に出産した産婦 ②申請日において、母子健康手帳の交付を受けている妊婦 ※令和2年7月開始、令和3年度継続 (申請受付期限 令和4年3月31日) 給付額 5万円分の市内共通商品券 南房総市：実施なし 鋸南町：実施なし					
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	犬適正管理活動育成事業		事業開始年度	平成16年度					
上位施策事業名	狂犬病予防対策の推進		担当課名	環境課					
根拠法令等	狂犬病予防法		係名	環境保全係					
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	畑中依子					
実施の背景	狂犬病予防法に基づき、狂犬病予防注射の実施と畜犬登録を促進する。								
目的 (何をどうしたいのか)	狂犬病の発生を防ぐため、市内の犬の飼育状況を把握し、予防接種率を上げる。								
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	畜犬の所有者及び畜犬を飼う可能性のある者 (世帯を1人として対象とみなす。)		対象者数 (全住民に対する割合)					
				14533 人	(45.6 %)				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者) <input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()							
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 畜犬の登録管理を行い、鑑札を交付 ・ 狂犬病予防注射の集合注射を実施 ・ 狂犬病予防注射済み票の交付申請を受付、注射済票及び門標の交付 ・ 犬のフン持ち帰り啓発用の看板購入及び希望者への配付 								
関連事業 (同一目的事業等)	千葉県が行う狂犬病予防法に基づく予防対策 (捕獲、抑留等) 狂犬病発生時の防疫対応への協力								
事業コスト		R3年度 (予算)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)		H30年度 (決算)	
	事業費合計	656 千円		594 千円		388 千円		272 千円	
	事業費内訳 R2年度	消耗品費 (鑑札、看板 (犬のフン持ち帰り啓発) 等) 134,688円 畜犬登録促進指導委託料 (新規畜犬登録の指導をした獣医師へ) 6,300円 パソコン保守料 (畜犬管理システムPC保守委託料) 30,228円 パソコンリース料 (畜犬管理システムPCリース料) 422,400円 合計 593,616円							
	人件費	0.3 人	1,681 千円	0.3 人	1,681 千円	0.4 人	2,241 千円	0 人	0 千円
	人件費合計	0.3 人	1,681 千円	0.3 人	1,681 千円	0.4 人	2,241 千円	0.0 人	0 千円
	総事業費	2,337 千円		2,275 千円		2,629 千円		272 千円	
財源内訳	国県支出金	千円		千円		千円		千円	
		国県支出金の内容							
	地方債	千円		千円		千円		千円	
	その他特財	656 千円		594 千円		388 千円		271 千円	
		その他特財の内容 狂犬病予防注射済票交付手数料							
	一般財源	1,681 千円		1,681 千円		2,241 千円		1 千円	
	財源合計	2,337 千円		2,275 千円		2,629 千円		272 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		犬適正管理活動育成事業			事業開始年度		平成16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		狂犬病予防注射接種数		頭	1,308 / 1,685	1,447 / 1,752	1,538 / 1,833
					/	/	/
					/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/	登録数	1,350		
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	狂犬病は犬だけでなく人にもかかり治療の術もないことから、市民が安心して畜犬を飼うことができ、また、畜犬を飼っていない市民も周囲で畜犬が飼われていても安心して生活することができるようにするため、狂犬病予防注射接種率の維持・向上を図る。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		狂犬病予防接種率		件	78 / 100	83 / 100	84 / 100
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	1956年以降、国内では狂犬病の発生は報告されていないものの、海外では今なお多くの症例が確認されている。国際化が進み、国内流入感染のリスクは依然高いものの、長期間にわたる未発生と、発病後の致死率等危険性の認識が薄いため市民の関心が低い。 室内犬等の飼育状況を把握することが困難なケースもあることから、情報の周知と状況把握の徹底が課題である。 また、災害時のペット同行避難についても、今後更なる検討が必要である。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		法に基づく制度のため、全国の市町村で実施。 千葉県の注射率：72.1% (厚生労働省HP 令和元年度都道府県別の犬の登録頭数と予防注射頭数等より)					
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名		予防接種事業		事業開始年度	平成16年度						
上位施策事業名		予防接種の促進		担当課名	健康推進課						
根拠法令等		予防接種法、予防接種法施行令、予防接種法施行規則、予防接種実施規則、鶴川市定期予防接種負担金交付要綱、鶴川市任意予防接種実施要綱		係名	保健予防係						
事務区分		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	尾形正一郎						
実施の背景		予防接種により国民全体の免疫水準を維持する。 そのために接種機会を安定的に確保するとともに、社会全体として一定の接種率を確保する。									
目的 (何をどうしたいのか)		感染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び健康の保持増進を図る。									
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	全市民(根拠法令に基づく対象者) (予防接種法第5条、第6条及び予防接種施行令第1条の3に基づく)			対象者数(全住民に対する割合) 31,850人 (100.0%)						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施									
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 医療機関等)									
		<input type="checkbox"/> 補助金(<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)									
事業内容 (手段、手法など)	事業内容(箇条書き)		事業費	活動指標							
	予防接種法第5条に規定する定期の予防接種、第6条に規定する臨時の予防接種を実施する。 ・定期予防接種(A類) (四種混合、三種混合、二種混合、不活化ポリオ、麻しん風しん、日本脳炎、BCG、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防、水痘、B型肝炎、緊急風しん対策抗体検査、緊急風しん抗体検査予防接種) 事業費:50,647千円 活動指標:接種率 ・相互乗り入れ事業、予防接種要注意者 ・定期予防接種(B類) (高齢者インフルエンザ) 事業費:20,077千円 活動指標:接種率 ・定期予防接種(B類) (高齢者肺炎球菌ワクチン) 事業費:531千円 活動指標:接種率 ・任意予防接種 (成人麻しん風しん混合、成人風しん) 事業費:136千円 活動指標:接種率 ・予防接種被害調査に関する事業 (予防接種による健康被害が生じた際、調査委員会を設置。) 事業費:0円 活動指標:-										
関連事業 (同一目的事業等)											
コスト	R3年度 (予算)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)		H30年度 (決算)				
	事業費合計		69,597 千円		74,024 千円		55,907 千円		54,739 千円		
	事業費内訳 R2年度		旅費 0円 需用費(予診票用紙、予防接種必携、ガイドライン、パンフレット等購入費) 182,080円 委託料 73,117,022円(予防接種委託料) 負担金、補助金及び交付金 ・予防接種事故補償負担金 65,606円 ・定期予防接種負担金 228,700円 国県支出金等返還金431,000円								
	人件費		1.29人 7,227千円		1.52人 8,515千円		0.40人 2,241千円		0.3人 1,681千円		
	人件費合計		1.3人 7,227千円		1.5人 8,515千円		0.40人 2,241千円		0.3人 1,681千円		
総事業費		76,824 千円		82,539 千円		58,148 千円		56,420 千円			
財源内訳	国県支出金		1,820 千円		1,717 千円		1,269 千円				
	国県支出金の内容		国県支出金の内容 感染症予防事業費等国庫補助金1,666 風しんワクチン接種補助事業費補助51								
	地方債										
	その他特財										
	その他特財の内容										
一般財源		75,004 千円		80,822 千円		56,879 千円		56,420 千円			
財源合計		76,824 千円		82,539 千円		58,148 千円		56,420 千円			

事業シート (概要説明書)

予算事業名		予防接種事業		事業開始年度	平成16年度		
事業実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度		
	定期予防接種A類疾病 (子どもの予防接種)	人	5,113 / 6,959	4,940 / 7,579	4,719 / 5,755		
	定期予防接種B類疾病 (高齢者インフルエンザ)	人	8,046 / 12,444	6,631 / 12,408	6,226 / 12,431		
	定期予防接種B類疾病 (高齢者肺炎球菌) (平成26年10月から実施)	人	352 / 2,677	265 / 2,778	624 / 2,787		
	任意予防接種 (成人麻しん風しんのみ)	人	32 / 9,632	37 / 9,977	72 / 10,296		
単位当たりコスト	①事業費 (定期予防接種A類) ②事業費 (定期予防接種B類 高齢者インフルエンザ) ③事業費 (定期予防接種B類 高齢者肺炎球菌ワクチン) ④事業費 (任意予防接種)	/	①定期予防接種A類疾病 実績 (高齢者インフルエンザ) ②定期予防接種B類疾病 実績 (高齢者肺炎球菌) ③定期予防接種B類疾病 実績 (任意予防接種)	円	①9,905 ②2,495 ③1,508 ④4,250	①9,017 ②1,512 ③1,501 ④3,864	①8,848 ②1,526 ③1,548 ④4,444
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	接種率を向上させ、個人の免疫力を高めるとともに疾病の発生を防ぎ、地域への感染のまん延を防止する。					
事業成果	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度		
	定期予防接種A類疾病 (子どもの予防接種)	%	5113/100	73.4/100	81.9/100		
	定期予防接種B類疾病 (高齢者インフルエンザ) 接種人数	人	8046/7000	6631/7000	6,226/7,000		
定期予防接種B類疾病 (高齢者肺炎球菌)	人	352/700	265/700	624/700			
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
事業の自己評価	今後の事業の方向性、課題等	母子保健事業や子育て支援事業など、あらゆる機会をとらえ予防接種をPRし、正しい知識の普及と接種率の向上を目指す。 予防接種間違い防止のため、保護者や対象者、医療機関等に正しい知識を普及する。 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種については、平成26年度より予防接種法に基づく定期接種に追加され、5歳刻みのふしめ年齢を対象に実施してきた。受診率が低いこともあり、令和元年度から再度5歳刻みのふしめ年齢を対象に実施を行う。 令和元年度から、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性を対象に、風しんの抗体検査及び予防接種を実施。受診率向上のため、積極的に受診勧奨を行う。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	R1実績 (R2実績については現在取りまとめ中) ・定期予防接種 (A類) 館山市: 対象者8,559人 接種者6,157人 南房総市: 対象者4,832人 接種者3,321人 鋸南町: 対象者1,048人 接種者661人 ・定期予防接種 (B類高齢者インフルエンザ) 館山市: 対象者18,118人 接種者10,536人 南房総市: 対象者17,085人 接種者9,844人 鋸南町: 対象者3,662人 接種者2,130人 ・定期予防接種 (B類高齢者肺炎球菌ワクチン) 館山市: 対象者4,094人 接種者364人 南房総市: 対象者3,792人 接種者471人 鋸南町: 対象者517人 接種者133人 ・任意予防接種 (麻しん風しん混合 (MR) ワクチン+風しん単体ワクチン (R)) 館山市: 接種者34人 南房総市: 接種者8人 鋸南町: 接種者6人						
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	各種検(健)診事業		事業開始年度	平成16年度																				
上位施策事業名	生活習慣病対策の充実 (各種がん検診の推進)		担当課名	健康推進課																				
根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、肝炎対策基本法		係名	保健予防係																				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	尾形正一郎																				
実施の背景	疾病の早期発見による市民の健康の確保、健康寿命の延伸並びに左記による医療費負担の縮減、法に基づく実施義務の履行。																							
目的 (何をどうしたいのか)	がん等の早期発見により、がんによる死亡率の減少を図り、疾病による生活の質の低下を予防する。																							
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	健康診査…40歳以上の生活保護受給者236人 骨粗しょう症検診…20~70歳までの5歳刻みの女性2,068人 肝炎ウイルス検診…40歳以上で受けたことのない者15,655人 子宮頸がん検診…20歳以上の女性14,818人 乳がん検診…30歳以上の女性13,083人 肺がん検診…40歳以上の者22,255人 前立腺がん検診…50歳以上の男性8,609人 胃がん検診…40歳以上の者22,255人 大腸がん検診…40歳以上の者22,255人		対象者数 (全住民に対する割合) 31,850 人 (100.0 %)																				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 ちば県民保健予防財団/(社) 太陽会) <input type="checkbox"/> 補助金(<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:) <input type="checkbox"/> 貸付(貸付先:) <input type="checkbox"/> その他()																						
	事業内容 (手段、手法など)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容 (箇条書き)</th> <th>事業費</th> <th>活動指標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会計年度任用職員報酬</td> <td>10千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>検診時の看護師への出役依頼</td> <td>49千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>検診関連に使用する封筒代、各種検診啓発用パンフの購入及び配布</td> <td>987千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>案内及び申込書、精密検査結果等の郵送</td> <td>2,034千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>健康診査、骨粗しょう症検診、肝炎ウイルス検診、各がん検診</td> <td>23,020千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	会計年度任用職員報酬	10千円		検診時の看護師への出役依頼	49千円		検診関連に使用する封筒代、各種検診啓発用パンフの購入及び配布	987千円		案内及び申込書、精密検査結果等の郵送	2,034千円		健康診査、骨粗しょう症検診、肝炎ウイルス検診、各がん検診	23,020千円	
	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標																					
会計年度任用職員報酬	10千円																							
検診時の看護師への出役依頼	49千円																							
検診関連に使用する封筒代、各種検診啓発用パンフの購入及び配布	987千円																							
案内及び申込書、精密検査結果等の郵送	2,034千円																							
健康診査、骨粗しょう症検診、肝炎ウイルス検診、各がん検診	23,020千円																							
関連事業 (同一目的事業等)																								
コスト		R3年度 (予算)		R2年度 (決算)		R元年度 (決算)		H30年度 (決算)																
	事業費合計	43,904 千円		26,100 千円		38,156 千円		39,616 千円																
	事業費内訳 R2年度	会計年度任用職員報酬 10,175円 看護師等謝礼金 49,000円 需用費(消耗品費、印刷製本費) 986,727円 役務費(郵便料、精密検査結果報告手数料) 2,034,359円 委託料 23,019,408円 ・健康診査委託料 0円 ・骨粗しょう症検診委託料 323,400円 ・肝炎ウイルス検診委託料 0円 ・がん検診委託料 22,696,008円 (子宮8,492,567円、乳6,323,105円、肺2,695,282円、前立腺0円、胃1,400,273円、大腸3,784,781円)																						
	人件費	担当正職員	1.80 人	10,084 千円	2.10 人	11,764 千円	1.8 人	10,084 千円	1.8 人	9,804 千円														
	臨時職員等					0.0 人		0.0 人																
	人件費合計	1.8 人	10,084 千円	2.1 人	11,764 千円	1.8 人	10,084 千円	1.8 人	9,804 千円															
	総事業費	53,988 千円		37,864 千円		48,240 千円		49,420 千円																
財源内訳	国県支出金	1,217 千円		285 千円		955 千円		779 千円																
		国県支出金の内容 健康増進事業補助金																						
	地方債																							
	その他特財	7,875 千円		4,499 千円		6,781 千円		7,210 千円																
		その他特財の内容 がん検診自己負担金4,444、骨粗しょう症検診自己負担金55																						
	一般財源	44,896 千円		33,080 千円		40,504 千円		41,431 千円																
	財源合計	53,988 千円		37,864 千円		48,240 千円		49,420 千円																

事業シート (概要説明書)

予算事業名		各種検(健)診事業		事業開始年度	平成16年度																																
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度																														
		健康診査< 受診者/対象者 >		人	0 / 236	7 / 236	9 / 239																														
		骨粗しょう症検診 <受診者/ (対象者×目標受診率) 以下同>		人	210 / 414	289 / 415	295 / 447																														
		肝炎ウイルス検診 (当該年度の受診者数)		人	0 / 783	281 / 784	236 / 786																														
	がん検診 (乳・子宮・肺・前立腺・胃・大腸)		人	6,947 / 28,015	10,738 / 29,945	11,111 / 26,158																															
単位当たりコスト	①事業費 (健康診査) ②事業費 (骨粗しょう症) ③事業費 (肝炎) ④事業費 (がん検診)	/	各検診受診者数	円	①0 ②1,540 ③0 ④3,267	①8,484 ②1,512 ③2,803 ④3,132	①8841 ②1462 ③2712 ④3471																														
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	評価指標として本来は疾病別死因による死亡率罹患率が適切であるが、把握困難なためがんによる死亡の割合を指標の一つとした。指標は、国のがん検診目標受診率をもとに安房地域の実状を踏まえて独自に設定した。																																			
事業成果	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度																														
		骨粗しょう症検診 < (受診者/対象者) / 目標受診率 以下同 >		%	10.1/20	13.2/20	13.2/20																														
		肝炎ウイルス検診		%	0/5	1.8/5	1.5/5																														
全死亡者のうちがんによる死因割合		%	未集計	27.4	26.4																																
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充																																			
	今後の事業の方向性、課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で広く小児期から家族ぐるみ等のあらゆる機会を捉え検診の必要性について啓発。 ・利便性の高かった同時検診は感染予防対策のため最小限とし、有効性安全性の高い検診体制を確保し、受診率の低下防止及び受診率向上を図る。 ・検診機関の拡大や医療機関での検診実施体制の充実整備。 ・要精密検査対象者の精密検査受診率向上及び国の指針に沿った検診精度の向上。 ・検診対象者全数への検診申し込み票送付の継続。 																																			
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	令和2年度各種検診受診率	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>鴨川市</th> <th>館山市</th> <th>南房総市</th> <th>館南町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん</td> <td>40歳以上 1.3%</td> <td>1.0%</td> <td>2.3%</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>40歳以上 11.6%</td> <td>11.9%</td> <td>13.0%</td> <td>10.2%</td> </tr> <tr> <td>結核・肺がん</td> <td>40歳以上 7.5%</td> <td>3.4%</td> <td>12.8%</td> <td>12.5%</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td>50歳以上 0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td>20歳以上女性 8.2%</td> <td>6.8%</td> <td>11.7%</td> <td>10.9%</td> </tr> </tbody> </table>				対象	鴨川市	館山市	南房総市	館南町	胃がん	40歳以上 1.3%	1.0%	2.3%	2.1%	大腸がん	40歳以上 11.6%	11.9%	13.0%	10.2%	結核・肺がん	40歳以上 7.5%	3.4%	12.8%	12.5%	前立腺がん	50歳以上 0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	子宮頸がん	20歳以上女性 8.2%	6.8%	11.7%	10.9%	*比較のために前述実績と異なり、母数を対象年齢人口として算出	
		対象	鴨川市	館山市	南房総市	館南町																															
胃がん	40歳以上 1.3%	1.0%	2.3%	2.1%																																	
大腸がん	40歳以上 11.6%	11.9%	13.0%	10.2%																																	
結核・肺がん	40歳以上 7.5%	3.4%	12.8%	12.5%																																	
前立腺がん	50歳以上 0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																	
子宮頸がん	20歳以上女性 8.2%	6.8%	11.7%	10.9%																																	
乳がん	右記の女性	30歳代超音波、40歳以上マンモグラフィ	30歳代超音波、40歳以上マンモグラフィ	30歳代超音波、40歳代(交互)マンモグラフィ、41歳と50歳以上マンモグラフィ	30歳代超音波、40歳代(交互)超音波、41歳と50歳以上マンモグラフィ	←中止 ←館山市のみ隔年実施																															
骨粗鬆症	右記節目年齢女性	10.3%	9.4%	15.8%	10.7%	←館山市のみ隔年実施																															
肝炎ウイルス	40歳節目受診率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	←40歳以外は受診歴のない者が対象であり未算出 ←中止																															

特記事項

・検診対象者は自覚症状がなく医療機関において管理されていない者であるため、市では検診を希望しない場合の医療機関管理中や職場検診等の機会がある者の把握については、毎年2月に対象者全数への申し込み兼アンケート票を送付し把握に努めているが、真の未受診者の把握は十分にできていない状況である。国でも受診率の算出方法等が検討されている。

事業シート (概要説明書)

予算事業名	健康増進事業	事業開始年度	平成16年度		
上位施策事業名	自主的な健康づくりの支援	担当課名	健康推進課		
根拠法令等	健康増進法	係名	保健予防係		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	尾形正一郎		
実施の背景	健康に関する教育・相談、インセンティブの設定による自主的な取組の実施へ向けた啓発による市民の健康の確保、健康寿命の延伸並びに左記による医療費負担の縮減、法に基づく実施義務の履行				
目的 (何をどうしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> 市民が個人又は団体等により取り組む健康づくり活動を奨励することにより、健康増進に係る市民一人ひとりの意識啓発を図り、もって健康寿命の延伸に資することを目的とする。 法に基づく実施義務の履行 				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	20歳以上の市民	対象者数 (全住民に対する割合) 31,850 人 (100.0 %)		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施			
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)			
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (<input checked="" type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)			
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()				
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標		
	健康教育 健康相談 (重点的相談・総合健康相談) 訪問指導 健康マイレージ事業 (健康ポイント)	21,120円 14,465円 55,345円 0円	実施回数 実施回数 訪問延人数 回収枚数		
関連事業 (同一目的事業等)					
コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)
	事業費合計	465 千円	91 千円	436 千円	418 千円
	事業費内訳 R2年度	①講師謝礼 0円 (生活習慣病予防教室講師謝礼等) ②消耗品費 69,810円 (健康教育用パンフレット等) ③印刷製本費 21,120円 (健康ポイントシート等) ④報償品 0円 (コロナウイルス補助金から支出)			
	人件費	0.23 人 1,288 千円	0.14 人 784 千円	0.4 人 2,241 千円	0.5 人 2,521 千円
	臨時職員等	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
人件費合計	0.2 人 1,288 千円	0.1 人 784 千円	0.4 人 2,241 千円	0.5 人 2,521 千円	
総事業費	1,753 千円	875 千円	2,677 千円	2,939 千円	
財源 内訳	国県支出金	120 千円	58 千円	102 千円	79 千円
	国県支出金の内容	健康増進事業補助金			
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特財	0 千円	0 千円	10 千円	0 千円
	その他特財の内容				
一般財源	1,633 千円	817 千円	2,565 千円	2,860 千円	
財源合計	1,753 千円	875 千円	2,677 千円	2,939 千円	

事業シート (概要説明書)

予算事業名		健康増進事業		事業開始年度	平成16年度			
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		健康教育 (実施回数)		回	6 / 50	28 / 50	48 / 60	
		健康相談 (実施回数)		回	22 / 50	53 / 50	42 / 50	
		訪問指導 (訪問延人数)		回	9 / 50	12 / 50	22 / 50	
		健康ポイントシート配布枚数		枚	4,500 / 4,500	6,000 / 6,000	6,500 / 6,500	
単位当たりコスト		①事業費 (健康教育分) ②事業費 (健康相談分) ③事業費 (訪問指導分) ④事業費 (健康マールジ分)	/	①健康教育 (参加延人数) ②健康相談 (参加延人数) ③訪問指導 (訪問延人数) ④健康ポイント (回収枚数、実施者)	円	①138.0 ②657.5 ③7906.4 ④0	①174.2 ②445.3 ③4501 ④1634.5	①156.8 ②30.3 ③2454.5 ④1.736
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	地域住民が健康で過ごすために実施した健康教育や健康相談の参加人数及び、健康の意識を高めてもらうための、健康マイレージ事業の健康ポイントシートの回収枚数を成果指標とした。						
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度	
		健康教育 (参加延人数)		人	153/1000	601/1000	835/1,000	
		健康相談 (参加延人数)		人	22/180	72/180	132/100	
		訪問指導 (訪問延人数)		人	9/100	12/50	22/50	
健康ポイントシート回収枚数		枚	232/150	150/150	132/150			
自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充							
事業の自己評価	今後の事業の方向性、課題等 ①健康教育・健康相談 ・各種検診等の様々な機会を有効利用し、開催回数・延人員の増加に努める。 ・対象年齢層に多い健康課題 (生活習慣病: メタボリックシンドローム、糖尿病等) に重点を置いた健康教育を取り入れる。 ②訪問指導 ・閉じこもり予防・認知症・介護家族の訪問については、今後も既存の各事業から対象者を把握すること。 ・関係機関、関係職種との連携を密にし、新規の対象者の早期把握に努める。 ③健康マイレージ事業 (健康ポイント) ・参加者数の更なる増加のため、事業の利便性及び景品の魅力の向上を図る。 ・提出者の75%が60代以降であったことから、若年層や働き盛りの世代の参加をより一層促進すること。 ・スマホアプリ等の活用について検討すること。							
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)								
特記事項								

事業シート (概要説明書)

予算事業名	感染症予防事業		事業開始年度	平成16年度		
上位施策事業名	-		担当課名	健康推進課		
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、新型インフルエンザ等対策特別措置法		係名	保健予防係		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	尾形正一郎		
実施の背景	感染症の発生の予防、及びそのまん延の防止を図ることにより、公衆衛生の向上及び増進を図る。					
目的 (何をどうしたいのか)	・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に規定する地方公共団体の責務を踏まえ、物品の購入及び備蓄等をおこなう。また、平時から感染症に関する正しい知識の普及啓発、感染症に関する情報提供を行うことで、発生予防・まん延の防止を図る。 ・新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、本市の区域に係る新型インフルエンザ等対策を的確且つ迅速に実施する。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	全市民		対象者数 (全住民に対する割合)		
				31,850 人	(100.0 %)	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)				
		<input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)				
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()					
事業内容 (手段、手法など)	事業内容(箇条書き)		事業費	活動指標		
	・感染症予防物品備蓄 (事業費:1631千円 活動指標:-) ・感染症予防事業 感染症予防普及啓発 (事業費:0円 活動指標:実施延人数)					
関連事業 (同一目的事業等)						
事業コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	115 千円	1,631 千円	271 千円	271 千円	
	事業費内訳 R2年度	各消毒液 63,159円 感染症予防消耗品 161,381円 手袋 31,920円 マスク 1,325,500円 非接触型体温計 8,500円 庁用備品費 40,194円				
	人件費	担当正職員	0.26 人 1,457 千円	0.24 人 1,344 千円	0.3 人 1,681 千円	0.3 人 1,681 千円
		臨時職員等	人 千円	人 千円	人 千円	人 千円
		人件費合計	0.3 人 1,457 千円	0.2 人 1,344 千円	0.3 人 1,681 千円	0.3 人 1,681 千円
	総事業費	1,572 千円	2,975 千円	1,952 千円	1,952 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円	千円	千円	
		国県支出金の内容				
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	千円	千円	
		その他特財の内容				
	一般財源	1,572 千円	2,975 千円	1,952 千円	1,952 千円	
財源合計	1,572 千円	2,975 千円	1,952 千円	1,952 千円		

事業シート (概要説明書)

予算事業名		感染症予防事業		事業開始年度	平成16年度		
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		感染症予防健康教育実施数		人	375 / 826	549 / 5,330	291 / 3,113
		感染症予防物品備蓄		千円	1,631 / 1,631	271 / 271	271 / 271
					/	/	/
				/	/	/	
単位当たりコスト	総事業費	/ 市民	円	93.4	60.4	59.5	
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	新型の感染症予防に対応すべく、備蓄を行っているが十分とは言えない状況。 また、平時から感染症に関する正しい知識の普及啓発、感染症に関する情報提供を行うことで、発生予防・まん延の防止を図ることが重要であり、感染症に関する教育活動の実施率および循環備蓄状況を指標として選定した。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R2年度	R元年度	H30年度
		感染症予防健康教育実施率		%	37.5/100	68.3/100	27.5/100
		感染症物品を市の施設等で活用するために配布		施設数	68/68	68/68	2/68
自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充						
今後の事業の方向性、課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のための物品確保とともに、公共施設及び地区活動において教育活動を実施する。 ・感染症防止のための循環備蓄の仕組みを作っていく。 ・避難所等での感染症防止のための物品の購入及び備蓄を行っていく。 ・新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、本市の区域に係る新型インフルエンザ等対策を的確且つ迅速に実施するため、安房地域市町や保健所等と連携を図りながら体制整備に努める。 						
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	令和3年度予算 館山市 防疫事業 951,000円 南房総市 感染症対策事業 500,000円						
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	感染症予防事業 (新型コロナ対策)		事業開始年度			
上位施策事業名	-		担当課名	健康推進課		
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、新型インフルエンザ等対策特別措置法		係名	保健予防係		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	尾形正一郎		
実施の背景	新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する緊急事態宣言発令により、市内量販店でのマスクや消毒液の入手が困難となったため、市内の高齢者施設や小中学校での使用を目的に、市でマスクや消毒液を購入し各施設に分配。施設での感染症の発生の予防、及びそのまん延の防止を図る。(認定こども園、障害者施設等のその他公共施設については関係事業の補助金を活用。)					
目的 (何をどうしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に規定する地方公共団体の責務を踏まえ、物品の購入を行う。 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、本市の区域に係る新型インフルエンザ等対策を的確且つ迅速に実施することから、高齢者施設・小中学校用に感染症対策物品 (アルコール等手指消毒液、非接触式体温計、マスク) を購入し分配する。 					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市内高齢者施設及び小中学校在籍者		対象者数 (全住民に対する割合) 人 (0 %)		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者)				
		<input type="checkbox"/> 補助金 (<input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接) (補助先 実施主体:)				
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()					
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標			
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止物品 高齢者施設 布マスク980人×2枚・施設用サージカルマスク20,000枚 消毒液・非接触式体温計48本 小中学校 布マスク2,550人×2枚・消毒液 					
関連事業 (同一目的事業等)	感染症予防事業					
コスト		R3年度 (予算)	R2年度 (決算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	
	事業費合計	千円	10,385 千円	千円	千円	
	事業費内訳 R2年度	消耗品費10,385,420円 (消毒液、マスク、非接触型体温計)				
	人件費	担当正職員	0 千円	0.45 人 2,521 千円	0 千円	0 千円
		臨時職員等	千円	千円	千円	千円
		人件費合計	0.0 人 0 千円	0.45 人 2,521 千円	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円
総事業費	0 千円	12,906 千円	0 千円	0 千円		
財源 内訳	国県支出金	千円	1,806 千円	千円	千円	
	国県支出金の内容 保育対策総合支援事業費補助金1,709、学校保健特別対策事業補助金68、学校保健特別対策事業補助金29					
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	千円	千円	
	その他特財の内容					
一般財源	0 千円	11,100 千円	0 千円	0 千円		
財源合計	0 千円	12,906 千円	0 千円	0 千円		

事業番号

予算科目
(款項目) 4 - 1 - 2

令和3年度

事業シート (概要説明書)

予算事業名		感染症予防事業 (新型コロナ対策)			事業開始年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
				/	/	/
				/	/	/
				/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/	新型コロナウイルス感染症拡大防止物品購入費	円	7,029,144
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R2年度	R元年度	H30年度
				/	/	/
				/	/	/
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のための物品確保。 ・備蓄とあわせた感染症防止のための循環備蓄の仕組みの構築。 				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項						

--	--	--	--

! © î ° >& +0[1 Â i>'				
	è0Ç / D)E)F i >& , ° ¥ ß ¼ P'Ç>'	i 6ä ° Ø		
V) 'Ç i i		\1" i	ú ã N4 1"	
? Ð 2 ç'¼		€ i	- ú £75 €	
i » (8 B2 ö*...	•g G M4{	
<p>, ° ¥ ß ¼ ~ - Y « □ \$ U N ± 75 F P'Ç _ ~ ç ô > 0 ° Ø ;] w) r œ è 0Ç @ p F I € S G \ ? } # O L S † » b M4Š _ X 8 Z \$ª / D b f W3Ö † w E 9x < K*... b \$ª b & - _6ö M • 2 Š _ ö Y C " I ú ã 0Ç ú ã Q4 2 _ ö Y C @ † è 0Ç '¼ † M / \$x _ † M • r œ è 0Ç b µ † & - M • S u ó c ... æ \$ª - á ± î* È (b) E) F 7 # Y 7 3 * È P'Ç † - M • v b</p>				
i + 0[P 1ß >&! i 1 † P1ß _>'	&k &Y&t 2 Ç '7g ó c ... æ \$ª - á ± î _ P M • ö "	P1ß*... X>&²+ , _ P M • m œ>'	
	< % 2	&k &Y&t 2 Ç '7g ó c ... æ \$ª - á ± î	w	
	i Æ >&m • m 2 ^>'	<p style="text-align: center;">i Æ >&'à² i A>'</p> <p>ç ô ° v ¥ ? } ç ô ° v ¥ b : U ;] w) r œ è 0Ç † £ [6 W S ¥ 6ë _ > 8 Z » \ M • £ [6 W S ' (b Ç ó 2 ? } ;] w) r œ è 0Ç b M4Š † K S * ö @ † è 0Ç 4Š (b Ç ó 2 l g \ i % 4 ? } b 7 # Y 1 * Z " B 5 p ° % & \ 8 † j K , 8 S 5 8 _ X 8 Z / ö " M • P 1ß ¥) 2 > 8 è µ p '¼ > è µ p æ è 0Ç 34 > ' Ü î « q</p> <p>ì ? Ð í è 0Ç « ± µ Ç > 8 % 3 1 □ O E & Ç Ç > ' è • O E & Ç Ç > ' Ç > ' i » (> & Ç Ç > ' ;) z • O E & Ç Ç > ' Ç > ' è 0Ç i » (> & i Ç > ' í è 0Ç « ± µ Ç 2 # Y > 8 Ç > & Ç ó 2) r 8 > ' í P 1ß ¥) 2 > 8 * ö @ † è 0Ç † (Ç 7 # Y 1 * Z " B 5 (Ç</p>		
	6ö4 i >& M % \$ x : '¼ >'	ó c w > / # è _ > 8 Z v) r œ ú 0Ç » † \$ 0 - † K Z 8 • G \ ? } 1 Y b : < ó c w > / # è _ Z] / ö " M • v b		
¥ 2 « °	i 2 œ0£	>& £'i>'	>& ô'i>'	
	5>0 ° Ø	>& ô'i>'	>& ô'i>'	
	, \ G * È (>& ô'i>'	>& ô'i>'	>& ô'i>'
	+ « i * È ('¼	>& ô'i>'	>& ô'i>'	>& ô'i>'
	Ç ó 2 œ0£	>& ô'i>'	>& ô'i>'	>& ô'i>'
) r i 2	>& ô'i>'	>& ô'i>'	>& ô'i>'
2 ; Æ O Â	\% 4 - 5	>& ô'i>'	>& ô'i>'	
	... % 0 .	>& ô'i>'	>& ô'i>'	
	Q b Ú " 12	>& ô'i>'	>& ô'i>'	>& ô'i>'
	M + á 2 ;	>& ô'i>'	>& ô'i>'	>& ô'i>'
2 ; œ0£	>& ô'i>'	>& ô'i>'	>& ô'i>'	

